



米沢市座の文化伝承館のあらし ①

1976年 / 昭和51年

上杉隆憲氏（上杉家第16代当主）が自邸として新築。

1977年 / 昭和52年

6月に入居後11年にわたり暮らす。

1988年 / 昭和63年

3月に東京へ転居されて不在となる。

1989年 / 平成元年

上杉家より建物と土地を譲り受けて、米沢市が内部の改修と茶室建設を決定。



米沢市座の文化伝承館のあらし ②

1990年 / 平成2年

6月に工事が完了し開館記念式と記念茶会が開催される。

ちなみに平成2～4年は…

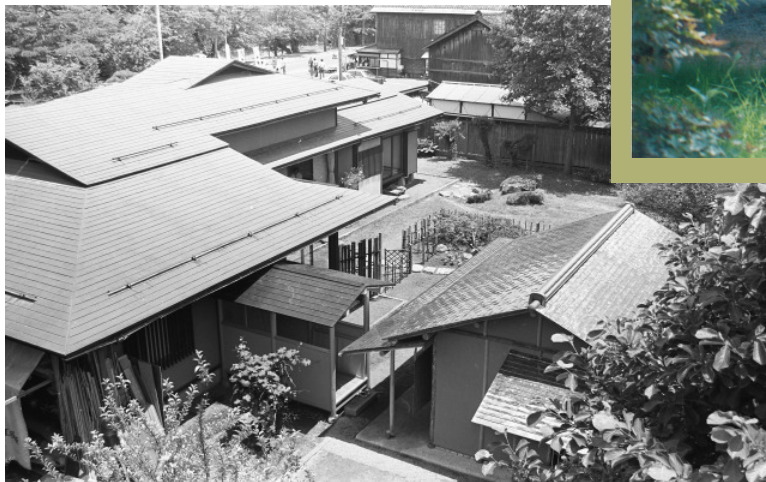
松が岬公園で堀の内側の石積や土砂さらいで全体がきれいになり、お祭広場が整備され、一体が輝きを増した年でした。



米沢市座の文化伝承館のあらし ③

茶室の庵名は…

上杉隆憲氏の雅号から「静山庵」とし、氏の揮毫で庵名板が扁額されました。左の写真は、開館記念式の前日夕方に庵前で撮影されたものです。前列左から、上杉虎雄氏（上杉家廟所管理事務所長）、上杉隆憲氏、上杉敏子氏（同夫人）、椿初枝氏（米沢茶道連合会の当時の会長）。ほか関係者。



米沢市座の文化伝承館のあらし ④

座って行う日本文化の心を育む活動の拠点施設として30年以上にわたり、活用されています。

ご利用案内は管理者へのお問合せ又は、ホームページでご確認ください。

